

鯉の養殖池で捕獲作業
「池払い」が始まりました
(全国唯一の「鯉係」。市職員も作業体験します)



ターゲット 2.3

令和2年2月28日
郡山市農林部
園芸畜産振興課
担当：若穂田、小林
TEL：924-3761

SDGs ターゲット 2.3 「小規模食料生産者の農業生産性及び所得を倍増させる」

郡山市内には27の鯉養殖池があり、その多くは、寒さ厳しいこの時期に鯉の捕獲作業「池払い」が行われます。

そのうちの一つ、北沢池でも池払いが始まり、この度、生産者のご厚意により公開されます。

- 1 月 日 3月2日(月) 午前9時～
- 2 場 所 北沢池(郡山市逢瀬町多田野字下北沢地内)



- 3 内 容 園芸畜産振興課鯉係職員が、胴長を履いて北沢池に入り、鯉養殖会社「熊田水産」の指導の下で、池払いの作業を体験します。
- 4 体験目的
 - ・身をもって鯉の生産現場を学び、養殖作業の課題を探る。
 - ・鯉を活用した体験型観光の可能性を探る
 - ・鯉養殖技術 IoT 導入プログラムに関連したマニュアル作成の基礎材料収集

【池払いとは】

鯉の養殖池では、年に1回(又は2年に1回)、池の水を抜き、養殖している鯉を全て捕獲します。全て鯉を捕獲し水抜きが完了した後は、数日間天日干しすることで、池底を殺菌します。

(写真：水抜き途中の北沢池)

